

一般財団法人伊勢神宮崇敬会

平成 28 年度事業報告

(自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 29 年 3 月 31 日)

本年度は、主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）開催に先立ち各国首脳が皇大神宮に表敬されたことにより、世界各国から神宮を始め伊勢志摩が注目を集めた。神宮では過去 4 番目となる約 874 万人の参拝者数が記録される中、本会においても各事業を順調に執り行うことができた。恒例の伊勢神宮新穀感謝祭を始め、予定の事業を滞りなく遂行し、日本人の営みと精神文化の中心である神宮の素晴らしさの啓蒙に努めた。

会員事業においては、継続してきた事業内容の充実を図るとともに、事業への参加対象を一般の方にも広げることで会員の拡充を図った。

宿泊及び研修施設として運営している神宮会館では、早朝の内宮神域の清々しさを体感いただく“早朝参拝案内”が大変好評を得ており、神宮にお参りされる方にご利用頂き順調に稼働した。また、直会昼食を始め、お伊勢まいるの記念品など広く謹製・頒布する事ができた。

1. 文化及び芸術の振興

① 第 61 回神宮奉納大相撲

日本相撲協会協賛のもと、国技である大相撲の取組を通じて守り伝えられた「心・技・体」の神髄を披露した。内宮神苑にて横綱 日馬富士・横綱 白鵬・横綱 鶴竜の土俵入りと三役力士による揃い踏み奉納し、神宮相撲場では例年同様にトーナメント戦等を行った。

(4 月 3 日) 手数入り 約 6,500 名、神宮相撲場 約 2,500 名

<幕内トーナメント優勝者 稀勢の里 寛・準優勝者 琴奨菊 和弘>

② 神宮植樹祭の参列

森林のもつ機能の大切さを学び、自然に対する畏敬の念を体感するため神宮宮域林で行われる桧の苗木を植樹するお祭りに、特に許されて参列した。

(4 月 22 日) 14 名<27 年度 10 名>

③ 神宮祭典の奉拝、古殿地清掃及び伊雑宮御田植奉仕

2000 年に亘り続けられている恒例祭を奉拝して崇敬の心を体感し守り継がれてきた歴史・文化・伝統に触れた。

六月 (6 月 16 日) 26 名<27 年度 23 名>・十二月の月次祭(内宮)と神嘗祭(外宮)の神宮三節祭における由貴夕大御饌の儀を始め、平安・豊穰を祈念する恒例祭を奉拝した。また、神宮神田御田植初の奉拝 (5 月 6・7 日) 11 名<27 年度 11 名>、伊雑宮の御料田にて御田植奉仕 (6 月 26・27 日) 13 名、外宮古殿地清掃奉仕 (2 月 27・28 日) 32 名<平成 27 年度 33 名>を行った。

また、諸事業を通して神宮徴古館・せんぐう館の拝観を行い、神宮のおまつりをはじめ神宮式年遷宮について深く学んだ。

④ お伊勢さん 125 社まいる

本年度で 16 期目。神宮の全てのお社を年 3 回に分けて巡拝し神祀りの心を学んだ。また、これまで滞在日程により参加が難しかった方にも参加いただけるように 1 泊 2 日で 5 回に分けて巡拝できる日程を追加した。

※3 回巡拝日程 (5 月 11~13 日、10 月 2~4 日、2 月 5・6 日) 95 名<平成 27 年度 77 名>

※5 回巡拝日程

(6 月 6・7 日、7 月 11・12 日、10 月 19・20 日、12 月 19・20 日、2 月 20・21 日) 96 名

⑤ **神宮ばら園の運営**

市民を始め伊勢を訪れる方々にやすらう場所を提供する。また皇室敬慕の思いを育むため皇族のお名前を冠したプリンセス・ローズの育成を行い公開した。

⑥ **第 39 回神恩感謝祭**

年に一度会員が伊勢に集い、神宮の広大なるご神恩に感謝の真心を捧げ、会員各位の隆昌を祈念するお神楽を奉納した。本年度は、風日祈宮由貴夕大御饌の儀を奉拝した。

併せて諸事業及び会員活動など本会の現状報告と大麻比古神社宮司 圓藤恭久氏による『暮らしの中の神道』についての講演会を実施した。

(6月24・25日) 204名<平成27年度205名>

⑦ **第 45 回初穂曳への参加**

初穂米を募り伝統文化行事である「お木曳」そのままに執り行われる初穂曳に参加し、外宮神嘗祭・由貴夕大御饌の儀を奉拝した。食の文化を大切にしてきた日本の心を取り結び、培われてきた豊穰に感謝する気持ちを体験した。〔神社本庁協力〕

(10月15日) 322名<平成27年度187名>

⑧ **第 62 回伊勢神宮新穀感謝祭**

全国から毎年多数の参列者を迎えて新穀収穫への感謝の奉告祭を執り行った。併せて農業をはじめとした産業の振興に貢献された功労者の顕彰を行い、我が国の農事全般の発展を祈念した。(11月10日~12月13日) 参列者 9,492名<平成27年度8,559名>

農事関係功労者顕彰 29名

⑨ **第 55 回伊勢神宮奉納書道展**

毎日新聞社と共催で全国各地から書作品を公募し内宮饗膳所に於いて展示した。1,400年以上に亘って育まれてきた書道の伝統文化を振興し、書にみる芸術性を喚起した。

(11月19日~28日)

出展 13,181点 展示 559点<平成27年度 出展 13,566点 展示 551点>

⑩ **平成 28 年の御礼まいり**

大御神様のご神恩に感謝の真心を捧げ、皇室の弥栄、国家繫栄及び各位の安寧隆昌を祈念するお神楽を奉納した。併せて瀧原宮由貴夕大御饌の儀及び天長祭を奉拝した。

(12月22・23日) 40名

⑪ **お神楽奉納と神宮茶室での呈茶**

伊勢の伝統ある風習の月初めのお参りを体験し、報恩感謝の祈り(神楽・御饌)を個々に捧げると共に、神宮茶室に於いて茶道により伝えられてきた簡素な美と心に触れた。

(6月、10月、11月、2月、3月 定員各20名 年5回) 82名<27年度53名 年3回>

2. 児童及び青少年の健全育成

① **伊勢の伝統文化体験**

全国の小学生とその父兄を対象に伊勢を中心として育まれてきた精神文化を学習し、健全な心の育成を目的に開催した。雅楽教室、火起こしなど体験型教室を行った。

(8月20・21日) 48名<平成27年度42名>

② **第 54 回伊勢神宮奉納全日本学生弓道大会**

全日本学生弓道連盟・神宮司庁・三重県弓道連盟との共催のもと、第64回全日本学生弓道王座決定戦・第62回東西学生弓道選抜対抗試合・第40回全日本学生弓道女子王座決定戦・第40回女子東西学生弓道選抜対抗試合を開催した。(11月19~21日)

③ 第13回神宮奉納お伊勢まいり作文コンクール

全国より伊勢の文化に触れる作文を募集し、国語の表現力を高め優秀作品を表彰した。

(3月11日) 応募数 209 作、受賞者 6 名

3. 会員組織の拡充と展開

崇敬会会員の現状

正会員 6,377 名 会員 6,938 名 準会員 3,948 名 合計 17,263 名 維持会員 256 件 (287 口)

※正会員 6,219 名 会員 6,713 名 準会員 3,802 名 合計 16,734 名 維持会員 234 件 (265 口)

〈H28. 3. 31〉

① 入会促進

日本人の大きな精神的支柱である伊勢の神宮を、多方面から紹介し、受け継がれてきた神を敬い日本を愛する心の涵養に努めた。遷宮を次の世代へと紡ぐ懸け橋として祭典案内等の施策を講じ会員の拡充をはかった。

今期目標 17,500 名 正会員 6,450 名 会員 6,950 名 準会員 4,100 名 維持会員 290 口

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
東京都	838	1,473	912	3,223
神奈川県	413	307	142	862
埼玉県	204	223	78	505
群馬県	91	61	34	186
千葉県	327	166	60	553
茨城県	74	51	14	139
栃木県	64	34	46	144
山梨県	40	101	50	191
北海道	233	165	138	536
宮城県	67	60	22	149
福島県	71	144	10	225
岩手県	26	30	43	99
青森県	67	29	6	102
山形県	34	23	7	64
秋田県	27	43	3	73
三重県	362	303	67	732
愛知県	554	456	345	1,355
静岡県	246	160	582	988
岐阜県	132	168	50	350
長野県	127	435	71	633
新潟県	72	69	100	241
福井県	37	39	10	86
石川県	102	59	16	177
富山県	122	138	29	289

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
京都府	151	110	33	294
大阪府	372	372	109	853
兵庫県	195	195	67	457
奈良県	66	80	13	159
滋賀県	70	40	7	117
和歌山県	40	50	18	108
鳥取県	35	31	18	84
島根県	41	42	57	140
岡山県	100	110	67	277
広島県	96	56	37	189
山口県	81	70	20	171
徳島県	57	76	2	135
香川県	73	36	13	122
愛媛県	45	31	26	102
高知県	93	68	6	167
長崎県	32	311	8	351
福岡県	276	288	268	832
大分県	42	45	14	101
佐賀県	53	66	265	384
熊本県	61	72	11	144
宮崎県	17	10	21	48
鹿児島県	35	26	8	69
沖縄県	16	14	25	55
海外	0	2	0	2
合計	6,377	6,938	3,948	17,263

② 第21回会員研修会

神宮神田での稲刈り奉仕作業及び内宮古殿地清掃奉仕をはじめ、神宮に関する知識を講話等で学んだ。(9月26・27日) 79名<平成27年度77名>

③ 会員研修会(特別編)

神宮に関する知識を養いより神宮崇敬心の涵養に努めた。また特別の許可を得て宮域林の見学を行い、その重要性和意義について広く学んだ。(11月13・14日) 33名

4. 宿泊、研修施設等の運営

① 神宮会館の運営

宿泊研修施設の神宮会館を運営し、お伊勢まいりの宿として細やかに応接し、本会職員が早朝参拝案内をするなど参宮促進と御神徳宣揚に努めた。

宿泊利用者 40,548 名（1 日平均 111.1 名・部屋稼働率 70.75%）

※平成 27 年度 41,099 名（1 日平均 112.3 名・部屋稼働率 73.90%）

月度	大人	学生小人	宿泊合計
4	2,788	144	2,932
5	2,407	232	2,639
6	2,497	424	2,921
7	2,068	2,062	4,130
8	2,598	1,880	4,478
9	2,619	404	3,023

月度	大人	学生小人	宿泊合計
10	3,649	192	3,841
11	2,766	1,018	3,784
12	2,749	894	3,643
1	3,079	139	3,218
2	1,937	455	2,392
3	2,848	699	3,547
合計	32,005	8,543	40,548

② 宿泊企画の実施

宿泊に付属した伊勢の風習や諸宮社の参拝などを行い、利用者の増加に努め利便性を図った。

(ア)両宮特別参拝と日別朝夕大御饌祭奉拝

豊受大御神の御鎮座以来つづけられている日別朝夕大御饌祭の奉拝と両宮特別参拝を行った。お祭りの意義を啓蒙し五穀豊穰を祈り食の恵みに感謝した。

（7 月 10 日、9 月 20 日、2 月 10 日）56 名

(イ)第 16 回八朔まいりとお水汲み

伊勢では八朔の日（8 月 1 日）に、五十鈴川の水をご家庭の神棚に供え、一年の家内安全・無病息災を祈願する風習があり、体験することにより敬神崇祖の念を涵養した。

（7 月 31 日・8 月 1 日）46 名<平成 27 年度 37 名>

(ウ)第 17 回冬至まいりと注連縄作り体験

冬至の日に、宇治橋大鳥居の正面に昇る朝日を拝み、過ぎた一年に感謝する風習を体験し、自然に対する畏敬の念を喚起した。

また、伊勢では一年中玄関に注連縄を飾り無病息災を祈る風習があり、その注連縄作りを体験し平安への思いを涵養した。（12 月 20・21 日）62 名<平成 27 年度 83 名>

(エ)お伊勢さん正宮・別宮まいり

内宮、外宮の正宮と 14 の別宮を参拝しご朱印を集印した。途中神宮ゆかりの施設も訪れた。（2 月 17・18 日）30 名<平成 27 年度 25 名>

5. 会報、図書その他印刷物の編纂と刊行

① 会報誌「みもすそ」

神宮に関する記事、伊勢志摩の歴史・文芸・習俗の話題、本会行事などの情報発信源の主力媒体として編集し、各会員あて配布する。創刊から 4 月で 78 号発行となる。

4 月（78 号）は倭姫命のご巡幸Ⅱ、7 月（79 号）は御幣鯛の島、10 月（80 号）は御塩づくり、1 月（81 号）は神御衣を奉るを特集した。（年 4 回発行）

② 叢書

御神徳の宣揚、神社神道の昂揚を図るため神道有識者に依頼し刊行した。

叢書 21 『建国の使命 - 「大祓詞」の神学 - 』

國學院大學神道文化学部副学部長 西岡 和彦氏

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

① 昼食の利用促進

神社関係者を中心に働きかけ、お神楽奉奏の団体には直会饗膳も提案した。

利用者 41,968 名（平均 115.0 名／日）、平成 27 年度 42,377 名（平均 115.8 名／日）

② 物品、記念品の販売

会館利用者並びに崇敬会会員の利便性を図るため売店を設け記念品・特産品の販売並びに木製品・参宮記念品の謹製・頒布を行った。また通信販売を行いカタログの調整・ホームページでの紹介を通じて販路の拡大に努めた。

③ 研修施設及び神宮相撲場の利用促進

講堂（大ホール・会議室）及び神宮相撲場の利用促進を図った。

④ 神宮参拝者駐車場の運営

内宮前の渋滞緩和の一助として、神宮会館横に隣接する立体駐車場を運営した。

年度	乗用車	バス	合計	有料乗用車	有料バス	有料合計
28 年度	165,685 台	970 台	166,655 台	142,379 台	24 台	142,403 台
27 年度	160,007 台	849 台	160,856 台	135,160 台	21 台	135,181 台

⑤ コインロッカーの運営

宇治橋前に設置されているコインロッカーを管理し、内宮参拝者の便宜を図った。

⑥ 太陽光発電事業の運営

太陽光発電設備を導入し我が国のエネルギー政策である CO₂ 排出削減や再生可能エネルギー導入拡大への協力を行った。地球環境保護への貢献を図るとともに神宮会館経営の一助とした。

⑦ 神社関係者大会等に出向

各地で開催の神社関係者大会等に出向き、本会の広報を行った。

岡山県神社関係者大会（4 月 20 日）、広島県神社関係者大会（8 月 23 日）

⑧ スポーツ及び文化活動への助成

行政を含めた協賛・後援依頼団体の行事及び事業の助成をした。

⑨ 参宮案内所における案内

神宮の参宮案内所(宇治橋前)に職員を派遣し、神宮に関する案内を行った。

役職員数

理事 13名、監事 3名、評議員 15名、職員 阿田事務局長 外51名

会議

1. 運営委員会	5月21日（神宮司庁会議室）	平成27年度事業報告・決算	他
2. 監事会	5月30日（神宮会館会議室）	業務及び会計監査	
3. 第4回定時評議員会	5月31日（神宮会館会議室）	平成27年度事業報告・決算	他
4. 第7回理事会	5月31日（神宮会館会議室）	平成27年度事業報告・決算	他
5. 代議員会	6月10日（神宮会館大講堂）	平成27年度事業報告・決算	他
6. 運営委員会	8月 9日（神宮司庁会議室）	平成28年度事業報告(中間)	他
7. 事務局長会	9月17日（神宮会館会議室）	平成28年度事業報告(中間)	他
8. 運営委員会	3月18日（神宮司庁会議室）	平成29年度事業計画・予算	他
9. 臨時評議員会	3月29日（神宮会館会議室）	平成29年度事業計画・予算	他
10. 第8回理事会	3月29日（神宮会館会議室）	平成29年度事業計画・予算	他

施設の改善

西館客室空調機改修工事、客室 WiFi 整備工事、客室畳改修工事、ばら園貴賓館床・壁改修工事、LED 化工事（大浴場、管理棟・弓道場外灯・立体駐車場外壁）、本館客室換気設備改修工事、大浴場ガラス改修工事、等（総額約 1,400 万円）

以 上